

平成30年10月23日  
株式会社 福田組  
国立大学法人 新潟大学

## 福田組・新潟大学「組織的な産学連携推進に関する協定」を締結

建設業と大学が、共同研究の促進や専門人材の育成等で連携することにより、相互の発展と社会および地域への貢献を目指し、新しい技術と価値を創造します。

福田組（新潟市中央区）と新潟大学（新潟市西区）は、「組織的な産学連携推進に関する協定」を平成30年10月23日（火）に締結しました。共同研究などの産学連携推進に加え、学術振興や人材育成、教育研究成果の社会還元などを目的として、様々な連携を展開していきたいと考えております。

### 1. 締結の様子

日時：平成30年10月23日（火）14：00から

場所：株式会社福田組 本社4階会議室 新潟市中央区一番堀通町3番地10



### 株式会社 福田組 代表取締役社長 太田 豊彦 コメント

当社が大学との組織的な連携協定を締結することは初めての試みとなります。これまでの新潟大学との「共同研究の実績」と「人的なつながり」を最大限にいかし、組織的な連携を緊密にすることで「ひと」「技術」の変革を目指し、企業価値を高めてまいります。

将来を担う優秀な人材の育成にも協力することで、社会と地域に貢献したいと考えます。

### 国立大学法人 新潟大学 学長 高橋 姿 コメント

新潟大学と建設業との連携協定は、福田組が第1号となります。これまで継続的に取り組んできた福田組との連携・協力実績を基盤に、今後、組織的な関係へと発展させたいと考えております。共同研究や技術開発のスピードを加速させることにより、本学としても、学術研究の振興や専門人材の育成を通じて、地域社会に貢献することを目指します。地域に根差した総合大学として、幅広い分野での教育研究成果を新潟県の発展に役立てたいと考えています。

## 2. 協定締結の目的

福田組と新潟大学が緊密な連携協力を推進することにより、共同研究等の成果を社会に還元して、技術力の向上及び人材の育成に資することをもって、相互の発展と社会および地域への貢献を図ることを目的としています。

## 3. 協定締結の経緯

福田組と新潟大学は、これまで建設事業に関する工学分野において、共同研究の実施や技術開発に繋げるための検証依頼など土木事業と建築事業にて、複数の連携協力を進めてまいりました。近年では土木系社員2名を社会人大学院生として新潟大学大学院自然科学学科へ派遣し、博士号を修得するなど人的な交流も積極的に行っております。

これまでの建設業界は、官庁工事への依存度が高く、公共事業予算の増減に大きく影響を受けてきました。一方で、担い手不足などの構造的な課題も依然として避けられない状況にあります。そのような環境下で、地域を代表する企業として安定的な受注と収益を確保し、地域や社会に持続的に貢献するためには、「人と技術」において当社ならではの圧倒的な強みを持つことが重要となります。よって本協定を締結することにより、両者の組織力を最大限に発揮し、工学分野を基軸として幅広い分野での協力体制に発展させて、社会および地域への貢献を一層進めていきたいと考えます。

## 4. 協定の連携内容

- (1) 両者が保有する知的資源、人的資源および物的資源の活用に関すること
- (2) 地域特性を生かした共同研究の実施に関すること
- (3) 専門人材の育成に関すること
- (4) その他、本協定の目的を達成するために必要な事項

## 5. 具体的な研究内容

現在、新潟大学とは以下の共同研究を実施中です。

共同研究内容	期間 (含む予定)	新潟大学	福田組	備考
数値解析を用いた自由面発破の合理的検討手法に関する研究 (自由面発破を模擬した発破実験、2次元個別要素法を用いた数値解析)	H23. 9～ H29. 3	工学部 阿部和久教授	若月和人	
3次元個別要素法を用いた合理的発破パターンの検討	H29. 4～			
トンネル切羽前方探査の開発 (トンネル切羽前方の地山を探査するため、当社独自の先進ボーリング孔内に電極を配置して行う電気探査データの解析方法の開発)	H26. 5～ H. 31. 3	工学部 阿部和久教授	桜沢雅志 椎谷成孝	

共同研究内容	期間 (含む予定)	新潟大学	福田組	備考
劣化診断とモニタリングの統合システムの開発 (再劣化に効果的な補修工法とその非破壊照査技術の開発)	H27.10～	農学部 鈴木哲也准教授	藤井伸之 小嶋篤志 須田翼	
多成分混合による高耐久コンクリートの開発 (相組成と遷移帯構造に着目した高耐久コンクリートの開発)	H28.4～ H31.3	工学部 佐伯竜彦教授	井貝武史	

※現在、新潟大学とは国際グループワークインターンシップを実施中です。

今後いっそう地域企業でも必要となる「理工系のグローバル人材」を育成するため、大学の世界展開力強化事業「メコン諸国と連携した地域協働・ドミトリー型融合教育による理工系人材育成（略称：G-DORM）」に協力し、国際グループワークインターンシップを実施しております。

実施期間：10月16日～10月25日

受入学生：新潟大学2名、タイ・チュラロンコン大学1名、ベトナム・ハノイ大学1名

以上